

研究に関するお知らせ

【研究課題名】

- ・心筋血流イメージングにおける心筋血流定量法の開発・改良に関する探索的研究

【研究の概要と目的】

・心筋シンチ検査は心筋虚血（心臓の血液が十分に足りているかどうか）や心筋バイアビリテーター（心臓の細胞が生きているかどうか）の評価に有用ですが、従来の SPECT 装置は、心筋血流量の定性評価しか出来ず、各病変部位の虚血程度がほぼ同等の場合、偽陰性となることがあります。我々の開発中のソフトウェアでは、従来の心筋血流量の定性評価に加えて、定量評価が可能になり、各病変部位の虚血程度がほぼ同等でも絶対的評価が出来ます。また、冠動脈疾患の心事故や予後予測に有用である心筋血流予備能を算出することが可能です。しかし臨床への有用性の報告はまだ少ないため、その有用性を検証していきます。

【本研究の対象・方法】

・当院で心筋シンチ検査が必要として施行され、研究に対して同意が得られた患者様を対象にしています。得られた画像情報から、処理ソフトにて定量解析を行い、心筋血流予備能、心筋血流量を算出します。このソフトウェアの問題点を抽出し、これらの定量解析情報と患者様の臨床情報（心筋障害の有無や冠動脈病変の有無等）を比較検討し、その有用性について検証します。

【研究機関・研究の実施体制】

・研究機関は熊本大学附属病院 RI 室にて、研究担当者は核医学の臨床を専門に行っている白石慎哉（熊本大学生命科学研究部放射線診断学分野助教）、坂本史（熊本大学附属病院 中央放射線部 助教）、津田紀子（熊本大学附属病院 画像診断治療科 医員）、小笠原浩司（熊本大学附属病院 画像診断治療科 医員）、放射線診断学専門医の山下康行（熊本大学院生命科学研究部放射線診断学分野 教授）にて連携をとりながら実施致します。

【個人情報の取り扱い】

- ・研究結果は、学会・学術雑誌等を通じて発表する場合がありますが、その際、患者様の名前・住所など個人を特定できるような情報は一切含まれません。

【本研究への参加と撤回の自由】

- ・本研究のための患者様への費用の負担はありません。
また、研究の対象となる患者様への謝金もありません。
- ・本研究への参加は、患者様の意思で決めていただきますが、たとえ参加を拒否されても患者様への不利益は生じません。また同意された後でもそれを撤回することができ、それによって不利益を被ることも一切ありません。

【問い合わせ先】

研究担当者：熊本大学生命科学研究部放射線診断学分野 白石慎哉
住所：熊本市中央区本荘1丁目1-1 電話：096-373-5261